

シリーズ 社会福祉法人の力を地域に

～社会福祉法人の地域における公益的な取組を紹介～

「法人連携の深まり ～コロナ禍こそつながりを途切れさせない～」

市町内の社会福祉法人が連携し、コロナ禍でも工夫しながら取組を行っています。

オンライン研修で多くの職員が共有

珠洲市社会福祉法人連携連絡会

昨年度まで取り組んでいた相談窓口の設置等への職員派遣はできなかったものの、設立以来検討している「災害発生時における相互支援」をテーマに研修会を開催しました。オンラインの利便性を活用し、栃木県益子町の(社福)同愛会 菊地常務理事に講師を依頼。町内で取り組んでいる「防災ネットワーク」についてご教示いただきました。終業後の18時～研修開始とし、約40回線(約120人)と多くの職員が同時に聴講できたことは、今後の取組進展の大きな礎となることと思います。

福祉の魅力発信。フोटコンテストへの協力とパネル展示の開催

のみ社会福祉法人連絡会

市内の福祉・介護事業所から作品を募集し、福祉現場で働く魅力、やりがい、喜びを広く市民に発信することを目的に実施されたフोटコンテストに協力し、パネル展示では法人の情報発信に努めました。他にも、感染症対策を徹底しながら、定例会を継続的に開催し、来年度に向け法人連携による取組を企画検討しています。



感染対策をとりながら幹事会、専門委員会を開催しました

地域共生フォーラム in ののいち開催

野々市市法人連絡会設立準備会

市内全18法人を対象に、地域生活課題に取り組みやすい環境づくりと、地域共生社会につながる地域づくりを支援するため、市内での法人連携の組織化について意見交換を行いました。フォーラム後もオンラインなどを活用し、引き続き地域ニーズの共有や取組内容について検討を図っています。

講師・発表者はリモート参加で



地域ニーズに応える福祉教育

中能登町社会福祉法人連絡会

児童・高齢・障害・社協と専門性の異なる4法人の特性を活かした福祉教育活動に取り組んでみようと話しました。学校やサロン、地域団体からニーズに添い、福祉教育の内容を検討していきます。



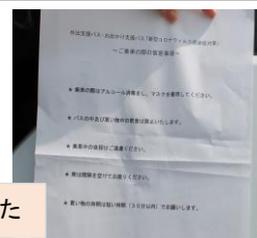
施設の職員・施設利用者が、地域づくり・人づくりに取り組んでいきます。

多様な人との繋がりで“人の生き様”を伝えたいと期待は膨らみます

施設間をつなぐ交流

穴水町内社会福祉法人連絡会

いくつか活動を制限していますが、住民からの要望も高いお出かけバスは、感染対策を徹底し運行を再開しています。また、連絡会内のこども園や保育所と高齢、障害福祉施設をオンラインでつなぎ、ひなまつりの季節行事を合同開催することも予定しています。



乗車時にチラシ作成し感染対策を徹底しました

◇◇◇地域における公益的な取組をシリーズで発信していきます。情報をお寄せください。◇◇◇